

授業科目名	子育て支援	担当教員名	森下 真由美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	保育の内容・方法の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (15時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	前期 (1-2期) / 年間開講数 2講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	(1)保育士の行う子育て支援の特性を考察し、子育て支援の展開について理解を深める。 (2)保育士の行う子育て支援とその実際をグループワークにて考え合う。(内容・方法・技術)		
到達目標	(1)保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。 (2)保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。		
テキスト	「保育者のための子育て支援入門—ソーシャルワークの視点からやさしく学ぶ—」園川 緑・中島 洋 編著（萌文書林）		
参考書・ 参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈原本〉」（株式会社チャイルド本社）		
成績評価の方法	平常点（受講態度、グループ討議内容等）30% 発表 30% 提出物（レポート課題も含む）40%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前・事後学習については授業中に指示します。 質問等は毎時間の受講カードによってフィードバックを行う他、授業終了後に研究室で受け付けます。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	社会環境の変化と子育て支援 子育て支援の必要性を考える 事例から考える（グループ討議①②）	(1)	
第2回	保育者が行う子育て支援の特性① 子どもの保育とともに行う保護者の支援 保護者との相互理解と信頼関係の形成	(1)	
第3回	保育者が行う子育て支援の特性② 支援ニーズへの気づき 多様な他者との関わる機会	(1)	
第4回	保育者の行う子育て支援の展開① 子ども及び保護者の状況の把握 支援計画 支援の実践（グループ討議）	(1)	
第5回	保育者の行う子育て支援の展開② 子ども及び保護者の状況の把握 支援計画 支援の実践（グループ討議）	(1)	
第6回	保育者の行う子育て支援の展開③ 職員間の連携・協働 社会資源の活用 社会福祉の担い手	(1)	
第7回	保育者の行う子育て支援とその実際① 保育所などにおける支援 事例検討①（グループ討議） 地域の子育て家庭に対する支援 事例検討②（グループ討議）	(2)	
第8回	保育者の行う子育て支援とその実際② 障がいのある子ども及びその家庭に対する支援 事例検討③ 特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援 事例検討④ 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解 学びをレポートにまとめる 学びをレポートにまとめる	(2)	